

## 黒河(くろこ)の会便り 第 35 号

### ◆朝日に映える銀杏

世界遺産黒河道の入口にある銀杏の大木が色づきました。撮影日の12月3日は快晴でした。朝日をうけ黄金色に輝く様は圧巻です。遠くからでも目立つ銀杏の木は、やがて黒河道の道しるべ、シンボルとなる事でしょう。



### ◆ 黒河道世界遺産追加登録記念式典

12月3日(日)13時より和歌山県世界遺産高野地区協議会主催による記念式典が、橋本市民会館大ホールで開催されました。紀北地区で大活躍の和太鼓集団「鼓舞」によるパフォーマンスでのオープニング。幻想的な雰囲気の中、篠笛と平安時代の装束の女性が荘厳の裡に登壇し、続いて和太鼓の勇壮な演奏が行われました。



第1部： 各界代表による記念式典



第2部：歴史講演 ゲスト 馬場章夫(ばんばふみお)氏の講演

高野山霊宝館副館長 山蔭加春夫(やまかげかずお)氏の講演  
「高野山及び高野参詣の歴史」

続いての座談会は馬場氏、山蔭氏、添田高野山真言宗宗務総長、辻林 浩 県世界遺産センター長の会談で閉会しました。

## ◆ 賢堂区祝賀会

10月24日、黒河道が世界遺産に登録されたことを記念し12月11日、賢堂区集会所にて祝賀会が行われました。約40名の区民の参加のもと、盛大で賑やかな会となりました。「世界遺産に成ったことは嬉しいが、同時に色々な問題も抱えています。今後は賢堂区の発展に寄与するよう共に頑張ってください」と区長の挨拶で乾杯しました。



## ◆ 豆腐焼き

賢堂定福寺を中心に、賢堂、清水、南馬場地区に「豆腐焼き行事」が受け継がれています。以前は各家庭でも大晦日には豆腐焼きをしたものです。最近では「年越しそば」の家庭も多いようですが、戦後テレビなどの影響で普及したものであり、もともとこのあたりの地域に「年越しそば」はありませんでした。「豆腐焼き」の風習は紀ノ川の北側の橋本地区にはないことから、旧学文路村の一部に残されている独特の食文化のようです。定福寺の「堂ノ講」では年末行事として今も受け継がれています。



## ◆ 一年を振り返って

平成25年に「黒河の会」を立ち上げ、皆様のご協力を頂きながら、ようやく今年10月、黒河道が世界遺産に登録されました。念願が叶い嬉しい事です。世界遺産とは、地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと引き継がれてきたかけがえのない宝物です。現在を生きる世界中の人々が過去から引き継ぎ、未来へと伝えていかなければならない人類共通の遺産です。黒河道という地域の宝物を保全し、後世に繋げていくためにもこれからは始まりです。

今後は賢堂区・清水区、それに九度山町、高野町が一体となり伊都振興局の橋本・伊都広域観光協議会指導のもと、また新しい形の黒河の会を模索したいと思います。本年もご協力頂き有難うございました。

どうか皆様、佳いお年をお迎えください。